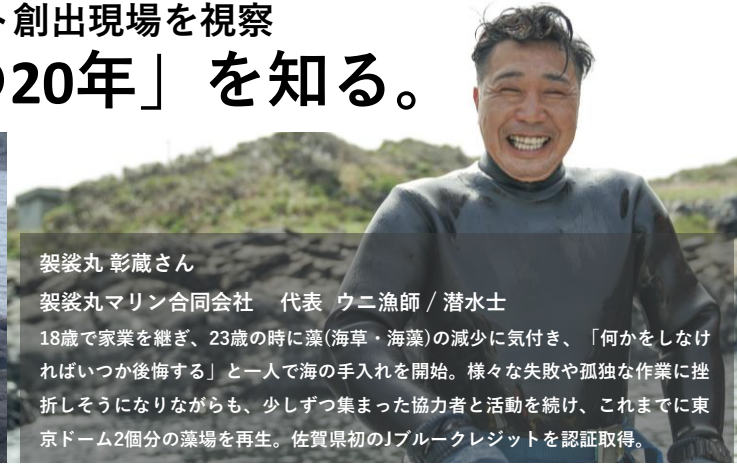


## 「ブルークレジット創出現場を視察 「唐津の漁師の20年」を知る。



今月は組合員向けの勉強会として私たちが活用しているカーボンの創出現場を視察しました。20年以上かけて藻場の再生活動を行う袈裟丸さんが見続けてきた海の状況や取り組みをお聞きし、交流を深めました。



袈裟丸 彰蔵さん

袈裟丸マリン合同会社 代表 ウニ漁師 / 潜水士

18歳で家業を継ぎ、23歳の時に藻(海草・海藻)の減少に気付き、「何かをしなければいつか後悔する」と一人で海の手入れを開始。様々な失敗や孤独な作業に挫折しそうになりながらも、少しずつ集まった協力者と活動を続け、これまでに東京ドーム2個分の藻場を再生。佐賀県初の「ブルークレジット」を認証取得。

### 磯焼けに危機を感じたウニ漁師

日本全国、世界中の海で藻を食べる食害生物が増え、藻が減少(磯焼け)しています。水産生物の産卵場所である藻場が無くなれば水産生物は減少し、漁業者は職を失います。「温暖化だけが原因ではない。地域の漁業者が海の手入れを行わなかった結果」危機を感じた袈裟丸さんは食害生物の駆除や海藻の植付けなどを始めました。2022年に地元漁師らとプロジェクトを立ち上げ、「ブルークレジット(海の藻場などが吸収するCO2を売買する認証制度)で年間約41トンのCO2の吸収が認証されました。同年に私たちは袈裟丸さんと出会い、このクレジットを調達・活用しています。



磯焼けは海の砂漠化と呼ばれる生態系のバランスが崩れます



駆除は素潜りで1日に数百個を地道に叩き潰します



活動開始から15年が経った頃に成果が見え始めました

勉強会では具体的な数字で海や漁業の実態を解説していただきました。漁業者の数は2003年の約23万人から22年には約12万人に減少※しており、漁獲量もピーク時から約8割減と深刻です。他にも「海洋植物1%の損失は車9700万台分の大気汚染に相当」「藻場が蓄えられる炭素は地上の木の20倍」など、外から見えない海の状況が可視化され、海の保護やブルーカーボンの重要性を再認識できました。※水産庁「令和5年度水産白書概要」

### 絶品ウニを生んだ海づくりを世界に届けたい



画像引用:PR TIMES

「藻場の再生を通じて、海藻が育った海で採れたウニは最高に美味しいこともわかった」

と袈裟丸さんは話します。実際に2023年度にっぼんの宝物 JAPANグランプリで「天然袈裟丸うに」が総勢333社の中で最高賞を獲得。養殖という方法もありますが、やはり天然のものにはかなわない。最高のウニが採れる海づくりを広めることが、持続可能な漁業や温暖化の解決にも繋がると袈裟丸さんは考えています。



袈裟丸さんの講演の様子。この日は組合員の子もたちも参加しました



ウニは海底の岩礁などに付着する海藻や海草をかじり取って食べるそう

### 海が再生する力を信じて、行動する

人生の半分近くを海の手入れに費やしてきた袈裟丸さんの話に組合員たちは感銘を受けた様子でした。ある組合員が「袈裟丸さんが手入れしている海はどの辺り？」と尋ね、皆でその海の方を眺めました。海を信じて、行動を続けた人の力に心を動かされました。袈裟丸さん、ありがとうございました。

# 佐賀県「GXモデル事業」の活動レポート

## 丸秀醤油がスコープ3・徳永製茶がCFPを算定

丸秀醤油と徳永製茶が昨年の夏から取り組んでいた佐賀県のGXモデル事業（脱炭素や温暖化対策を経済の成長・発展に繋げるGXのロールモデル企業を創出する事業）が3月で終了。それぞれの取り組みの一部をご紹介します。

丸秀醤油は本事業でスコープ3（原材料調達や事業から出る廃棄物などの間接排出）を算定しました。スコープ3の排出量は493t-CO2で、うち9割以上がカテゴリ1（原材料の調達など）によるもの。Scope3は全体のCO2排出量の約8割を占めていました。秀島さんは「スコープ1・2の削減が優先だけど、スコープ3も知れて良かった」と。また従業員向けの研修を実施し、会社が脱炭素に取り組む理由や基本知識を丁寧に解説。従業員とスローガンも作成しました。本事業に二人三脚で取り組んだ従業員について、秀島さんは「自分なりに一生懸命調べていたり、脱炭素に取り組んでもらうきっかけになった」と話しました。



従業員と考えたスローガンは「自然に寄りsoy、菌未来」！

▷丸秀醤油の取組紹介パンフレット(佐賀県HP)

徳永製茶はCFP（カーボン・フットプリント）を算定。商品やサービスのライフサイクル全体（原料調達から廃棄まで）のプロセスを洗い出し、主にデータベース（IDEA）に基づいて2製品のCO2排出量を算定。「玉琳（急須で淹れるお茶）」は1.28kg-CO2、「水出し煎茶」は1.14kg-CO2という結果に、徳永さんは「感情面では（数字の大きさに）ガッカリ。でも事業面では把握できてスッキリ」と。産地によって栽培方法は異なるのでデータベースではなく嬉野茶の実測値はどうか？など、より実数に近い算定にも意欲的です。またSBT認証（企業がパリ協定の目標（1.5℃目標）に沿った温室効果ガス削減目標を設定するための国際的な枠組み）を取得！本事業で得た知見を組合にも活かします！



お湯を沸かす工程がない分、水出しの方がCO2は少ない

▷徳永製茶の取組紹介パンフレット(佐賀県HP)

佐賀県が本事業の紹介パンフレットと動画を公開中！脱炭素経営を解説した動画（「[開示する](#)」編）ではサガコレをご紹介いただきました！ [詳細はこちら](#)

### トヨタ紡織九州 栄城会のみなさまが 名尾手すき和紙とレグナテックを視察



午前中は名尾手すき和紙で春の草花を使った紙すき体験を実施。「愛子様と同じ体験ができた」とお楽しみいただきました。レグナテックでは家具の製造現場やショールームを見学され、木の家具の温もりやこだわりを感じていただきました。講演ではサガコレのカーボンニュートラルの仕組みを解説させていただき、参加者からは「学びが多かった」「自社に持ち帰りたい」との声が寄せられました。▷[視察レポートを公開中](#)

### 佐賀県中小企業団体中央会さまが 丸秀醤油を視察&麦みそ作り体験

講演の前半は事務局長から組合概要やカーボンニュートラルの活動を解説。後半は丸秀醤油の秀島さんが「小規模事業者が取り組む脱炭素経営」というタイトルでこれまでの取組みを解説しました。その後、参加者のみなさんは麦みそ作りを体験。自然環境に住み着いた菌がはたらく、昔ながらの天然醸造の蔵も見学いただきました。



### 佐賀大学で特別講義を実施します

佐賀大学の授業科目「佐賀SDGsグローバルアクション」が一般開放されます。事務局長が「佐賀SDGsグローバルアクション1-1」の学外講師として5月28日の特別講義を担当いたします。オンライン受講も可能です。ご参加お待ちしております！▷[詳細はこちら](#)

### 4月行事予定

- 8日(火) [本家鍋島綏通 展示会](#)
- ~13日(日) @アートスペース余花庵(京都)
- 25日(金) 大川信金ニューリーダーズクラブ講演
- 28日(月) 理事会及び「SAGA COLLECTIVEの山」手入れ